

すずか税のたより

第125号

平成23年11月発行

「すずか税のたより」は鈴鹿納税貯蓄組合連合会のホームページに掲載しています。

主催

鈴鹿納税貯蓄組合連合会(習字・作文)
社団法人鈴鹿法人会(絵はがき)
鈴鹿間税会(標語)
鈴鹿税務署(作文)

平成23年度 応募状況

作文

228編

習字

1,237点

絵はがき

523点

標語

2,952点



鈴鹿税務署長賞

龜山市立井田川小学校 3年 田伏詩浦

小学生の絵はがきコンクール

税金で みんなの笑顔と 安心を

鈴鹿税務署長賞

中学生の 税 の 標語

鈴鹿市立千代崎中学校 1年 成田佳乃子

川崎小六年
葛西明日花

申電告子

龜山市立川崎小学校
6年 葛西 明日花

鈴鹿税務署長賞

白子小六年 松山香澄

申電告子

鈴鹿市立白子小学校
6年 松山 香澄

三重県教育委員会賞

中学生の税についての作文

「東日本大震災と税」

享栄学園鈴鹿中学校

2年 小林 奈央

今年の三月十一日に東日本大震災が起きました。岩手県、宮城県、福島県を主にして東北地方と関東の一部に大変大きな被害をもたらしました。大津波によって、沿岸の地域は壊滅状態になりました。たくさんの住民たちは、家だけでなく、学校や職場を流されて失つてしまいました。東北地方でさかんな漁業は、漁船や漁港が破壊されてしまいました。農業は、田畠が海水の被害にあり、米や野菜を作れなくなりました。工業では、部品を生産する工場なども壊されました。多くの人々が、今までの日常生活を送ることができなくなり、産業も大きな被害にあつたため、経済活動が十分に行うことができなくなりました。

震災にあつた人々の生活を元通りにするには、道路や電気、ガス、水道などのライフラインを整備し、学校を再建し、産業を復活させなければなりません。復興には、人の力が一番必要ですが、お金がなければできません。想像出来ないほどの巨額な費用が必要です。

津波の被害だけでなく、福島県では、原子力発電所の事故によって、住民は同じくらい大きな被害を受けました。放射能被ばくをしないように、住んでいる地域



三重県教育委員会賞

から離れて避難生活を余儀なくされています。放射能汚染により、酪農や農業は大打撃を受けています。原発事故で人々が受けいをしています。原発事故で人々が受けた損害に対する補償金も莫大な金額になるはずです。

復興に必要な費用や損害への補償金にあてる資金には、税金で集められたお金が必要となってきます。私たちは、募金という形で金銭的に直接協力することもできますが、税金を払うことで、間接的に協力することもできると思います。私たちが払うことができるのは、消費税などで、消費税率を上げて、その分を資金にしてもらいたいです。とても多く多額の資金が必要なので、税金の使い方を正しく、適切にすることも大切です。税金の無駄使いはすぐにやめて、使い道を見直すべきです。

例えば子供手当では、被害にあつた子供を対象にすれば良いと思います。学校にも通えて、不便もなく普通に生活ができるようになります。しかし、義務といふものも、確かにやめて、使い道を見直すべきです。

私たちが今までの日常生活を送ることができなくなり、産業も大きな被害にあつたため、経済活動が十分に行うことできなくなりました。

震災にあつた人々の生活を元通りにするには、道路や電気、ガス、水道などのライフラインを整備し、学校を再建し、産業を復活させなければなりません。復興には、人の力が一番必要ですが、お金がなければできません。想像出来ないほどの巨額な費用が必要です。

津波の被害だけでなく、福島県では、原子力発電所の事故によって、住民は同じくらい大きな被害を受けました。放射能被ばくをしないように、住んでいる地域



鈴鹿税務署長賞

享栄学園鈴鹿中学校

1年 増喜 菜穂

まず、税金とは何なのか。

私たちが毎日のように利用している道路や橋などの社会資本と言われる公共施設を整備すること、生命や財産を灾害や犯罪から守ること、生活に困っている人を保護することなどは、私たちが平等に豊かで健康な生活を営むうえで、絶対不可欠なことです。

しかし、これらの事は民間の活動ではまかぬことが出来ない部分が多いため、私は国や地方公共団体から「公共サービス」という形で提供を受けています。これらの他にも国や地方公共団体は、私たちの暮らしをより良くするため、様々な仕事をしています。それには、とてもたくさん費用がかかります。その費用を私たちも負担しています。

つまり、税金とは皆が平等に豊かで健康な生活を営むための平等な負担だと言えると思います。

今年の三月十一日に、「東日本大震災」がありました。とても大きな地震で、たくさんの被災者が今も大変な生活を強いられています。

そんな震災から少しだったある日、テレビで被災地復興のための増税の話をして

いました。そのVTRの中で、被災者である人の女性が増税についてインタビューを受けていました。その時、その女性は「被災者以外の人が増税されるのは仕方ないけれど、私たちが増税されるのはいやだ。」と言っていたのです。その時、私はとてもおかしいと思いました。なぜなら、最初のころは間に合わなかったり、足りなかつたりしていたけれど、日本中からたくさんの募金や世界中からの救援物資が届き、日本中の人々はもちろん、世界の人たちも手を差し伸べられているのです。それに、自分の義務さえも放り出そうとしていたのです。確かに、大変な生活だと思いますが、それは日本のみならず、世界の人々も知っています。しかし、義務といふものは、どんな時でも老若男女問わず全ての人が必ず放棄せずに成すべき仕事なのです。

税金の問題は、納める側だけでなく使う側もあります。

税金問題の中でも特にムダ使いの話がありますが、税金のムダ使いは納めている側の人々にとつても失礼な事ではないでしょうか。本来税金といふのは前に話した通り納める側が自分達の生活をより良くするために納めているものなのです。

つまり、税金のあるべき姿とは、納める側は義務という事をきちんと理解して納め、使う側は税金の大切さや、有り難さを

に力を合わせて取り組むことができるよう税に対する制度を作ることが必要だと思います。私たち一人一人が税に対し関心を持つことが大切であり、有効的に税金が使われているかを注目し続けることが重要だと思います。

日本全体が、東日本大震災からの復興に力を合わせて取り組むことができるよう税に対する制度を作ることが必要だと思います。私たち一人一人が税に対し関心を持つことが大切であり、有効的に税金が使われているかを注目し続けることが重要だと思います。

日本全体が、東日本大震災からの復興に力を合わせて取り組むことができるよう税に対する制度を作ることが必要だと思います。私たち一人一人が税に対し関心を持つことが大切であり、有効的に税金が使われているかを注目し続けることが重要だと思います。

鈴鹿税務推進協議会長賞

大切な税金の使い道

亀山市立亀山中学校
2年 黒宮 千聖

りよりかたの税金をかずす

『税金』と聞くと、『国にお金を払う』というイメージがあります。真っ先に思い浮かぶのは、『消費税』です。買い物をした時に五パーセントの税金を払っています。そして両親は、仕事で得た給料から、税金を払っているそうです。

日本の総理大臣が、消費税を十パーセントに引き上げるとテレビで言っているのを見ました。それに怒っている人、苦しんでいる人たちをテレビや新聞で目にしました。だから私の中では『税金』はマイナスのイメージがありました。

しかし、私たちも普段の生活の中で、実感していないけれど、さまざまな場所で税金にお世話になつてることがわかりました。

普段当然のように安心して利用できるのは、私たちが利用しやすいようにしてもらっているおかげなのだと思います。

税金は国民のために役立てる、とても大切なものであることがわかりました。

今私は、納税は私たちが生活していくのにとても重要なことなのだと感じました。

どんな事にも言えることですが、目先のことだけにとらわれてイメージしてはいけないと思いました。

今年日本は、千年に一度と言われるほどの大きな災害に襲われました。毎日テレビで映し出され、悲惨さが伝わってきました。日本全体で復興に力を併せていかなければいけない時だと思います。五ヶ月を過ぎた今、三重県に住んでいる私たちの日常生活で、普段何気なく買っていたものが、突然買えなくなったりしており、震災に見舞われた思いがしています。

復興をして震災前の生活に戻るには、数十年かかると言われています。被災された方々が一日でも早く元の生活に戻ることができるよう、私たちも協力していくなければいけないと思います。今後、長期的な援助が必要になつてきます。それには、税金が投入されていくと思います。だから、私たち国民は、正しく納税していくことが復興につながつていています。

学校で使っている机、教科書、部活動に必要な物品など、税金で賄われています。普段当然のように安心して利用できるのは、私たちが利用しやすいようにしてもらっているおかげなのだと思います。

税金は国民のために役立てる、とても大切なものであることがわかりました。

鈴鹿税務連絡協議会長賞

税金のありがたさ

亀山市立亀山中学校
2年 瀧 まどか

私は普段、あまり「税金」についてじっくりと考えたことがありませんでした。今回資料で調べてみると知らないことがたくさんあつて、おどろきました。税金は国に納める「国税」と、都道府県や市町村に納める「地方税」の二つに分けられます。日本の国全体のために使われているのが国税で、私達が住んでいる地域のくらしのために使われているのが地方税です。国税と地方税を合わせると、五十種類以上の税金があるそうです。私の身近なことで、暮らしに必要な道路や学校などを作っています。あたり前のように感じている無料で配られる教科書や机やイスの用具もそろえてもらっています。警察や消防署には安全を守つてもらっています。

その中でも、今一番関心があるのは「消費税」です。テレビでも税金と言う言葉はよく耳にしますが、この前お母さんが「また、消費税があがるのかな?」と言つていました。菅直人首相が十パーセントの増税案を言つていたからです。今の私は、本やお菓子、文房具類などでお金を支払

うくらいですが、たくさんの大好きなものをしたら消費税も高くなつて、大変だなと思いました。

でも、少しづつ調べていくうちに、税金が私達の生活に大きく関わっていて、なくてはならないものだと知りました。先日、病院へ行った時、調剤薬局で一千三百四十円を支払いました。「高いなあ」と思つて領収書を見たら、もとの合計金額は七千八百十円もあってびっくりしました。ほとんどが保険で支払われていて、自己負担額は三割だったのです。税金で七割も負担してもらっているのだと思うと、とても感謝しなければならないと思いました。

また、亀山市では特別な制度として、中学三年生までの医療費は全額、市から助成されるのです。病院へかかつた時の治療費にも税金が使われていて助けてもらつてあるんだなあとthoughtでした。

税金は私達、国民の暮らしを支えてくれています。みんなが豊かで健康な生活を送るために必要なものだと思いました。

「税金なんて無ければいいのに」という考え方から、将来仕事をするようになったら、きちんと税金を負担し、今から関心を持つて、いろいろなことに目を向けていました。昔直人首相が十パーセントの増税案を言つていたからです。今の私は、本やお菓子、文房具類などでお金を支払



税で成り立つ

私たちの暮らし

鈴鹿市立千代崎中学校
3年 佐藤 愛理

数年前、私の家の近くでは頻繁に火事が起きていました。冬で空気が乾燥して

すずか税のたより

(4) 平成23年11月発行

た税金でつくられ、運営されています。消防署は私たちの命を救つてくれる人が集まる大事な場所です。

もし、私たちが「税金なんて納めなくていいいんだ」と税金を納めなかつたら、消防署はつくられず、火事になつても誰も助けることはできません。もし消防署があつたとしても、税がなくなり会社化した消防署では火を消したあと、お金を取られるでしよう。私たちの生活はきっと不^安でうめつくされていくと思います。

税金は、多くの人から集めたお金で公共施設をつくり、運営したり、みんなにサービスをしたり、生活を支えてくれるというのは知っていました。しかし身近なところで税金がどんな風に使われているのかを考えたことはありませんでした。この消防署、私たちが通っている学校、病院、図書館すべて税金によりできています。そう考えてみると、税金は身近な存在であると思えてきました。

母からは税金を納めない人はたくさんいるとの聞きました。未納税者でも、消

防署や病院、税金からできている公共施設に助けられて生きていると思います

税を納めない人が増えたら、私たちはもう助けてもらえなくなります。私たちの

生活は税があるからこそ成り立っているのです。

私は税について勉強し始めたばかりなのでくわしい事はわかりません。だけど

改めて税について考えてみると税のありがたさがよくわかります。これから私は

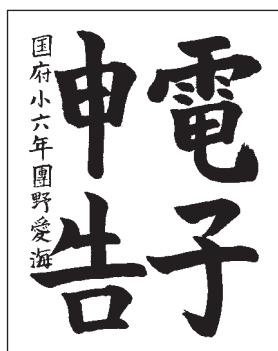
税についてもっと勉強し、積極的な納税者意識を持つていきたいと思います。

中学生の 税についての作文入選者

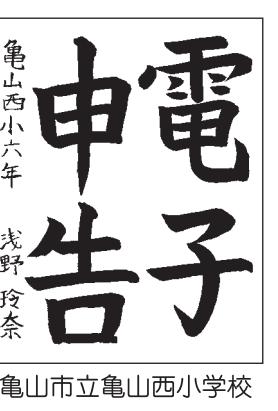
(敬称略)



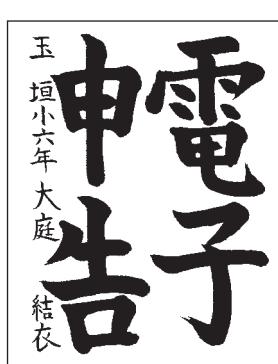
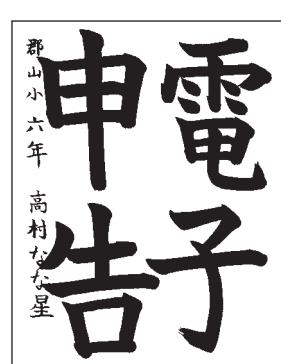
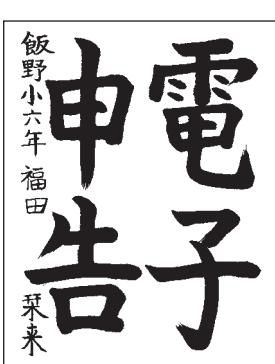
小学生の税に関する習字



金賞



銅賞



佳作

すずか税のたより

中学生の税の標語

鈴鹿税務推進協議会長賞

鈴鹿市立天栄中学校 1年 飯場 貴大

消費税 ちゃんとしつかり 払おう税

鈴鹿税務連絡協議会長賞

享栄学園鈴鹿中学校 1年 金信 光恵

納めよう すてきな暮らしに 変わる税

三重県間税会連合会長賞

享栄学園鈴鹿中学校 1年 小林 直矢

復興へ 希望の光は 消費税

鈴鹿間税会長賞

鈴鹿市立天栄中学校 1年 寺前 遼哉

消費税 みんなも出来る イータックス

金賞

鈴鹿市立鈴峰中学校 1年 田上 達也

税金は みんなを守る スーパーマン

鈴鹿市立平田野中学校 1年 宮崎 晃平

銀賞

鈴鹿市立白子中学校 1年 鈴木涼太郎

税金は みんなを守る スーパーマン

鈴鹿市立白子中学校 1年 鈴木涼太郎

銅賞

鈴鹿市立白鳥中学校 1年 市川 晃希

税金は みんなを守る スーパーマン

鈴鹿市立白子中学校 1年 鈴木涼太郎

佳作

鈴鹿市立白鳥中学校 1年 市川 晃希

生活になくてはならない 消費税

鈴鹿市立白子中学校 1年 鈴木涼太郎

消費税 笑顔の花を 咲かせます

お年寄り みんなで守ろう 税金で

消費税 未来の僕への プレゼント

税金を 払つて育つ 子供たち

消費税 みんなの暮らしの 守り神

税金を 払つて育つ 子供たち

消費税 みんなが 未来をつくる きりふだだ

消費税 みんなが 未来をつくる きりふだだ

消費税 みんなが 未来をつくる きりふだだ

消費税 みんなが 未来をつくる きりふだだ

消費税 みんなができる 助け合い

消費税 みんなができる 助け合い

消費税 みんなができる 助け合い

消費税 みんなができる 助け合い

消費税 みんなのための 消費税

消費税 みんなのための 消費税

消費税 みんなのための 消費税

消費税 みんなのための 消費税

消費税 みんなで納税 みんなのために

消費税 みんなで納税 みんなのために

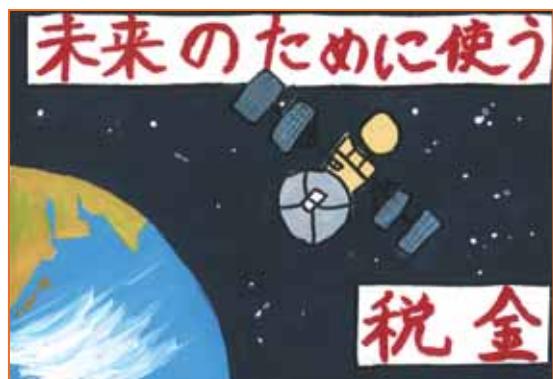
消費税 みんなで納税 みんなのために

消費税 みんなで納税 みんなのために



鈴鹿市立合川小学校
4年 川村ももか

鈴鹿税務連絡協議会長賞



鈴鹿市立栄小学校
4年 樋口 凜

鈴鹿税務推進協議会長賞



亀山市立白川小学校
3年 近藤 瞳磨

社団法人鈴鹿法人会女性部会長賞



亀山市立神辺小学校
4年 黒川 萌恵

社団法人鈴鹿法人会長賞

小学生の絵はがきコンクール

確定申告は自宅からインターネットで申告!

e-Taxでは、自宅等のパソコンからインターネットを利用して確定申告ができます。

e-Taxならこんなにいいこと！

- ① 最高4,000円の税額控除
- ② 還付金の受取がスピーディー
- ③ 書面と比べて郵送料が不要
- ④ 国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」から直接送信

※「確定申告書等作成コーナー」では、画面の案内にしたがって金額等を入力することにより申告書などを作成することができ、印刷すればそのまま税務署に提出することができます。

詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。



www.nta.go.jp 確定申告

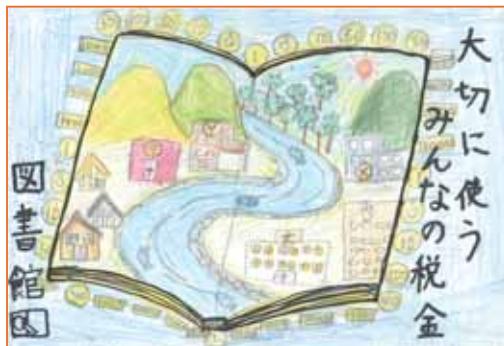
検索

お問合せ先：鈴鹿税務署 TEL 059-382-0351(代表)

税務署では、電話受付を自動音声により案内しています。この文書の内容に関するご質問は、「2」を選択してください。

(鈴鹿税務署からのお知らせ)

金賞

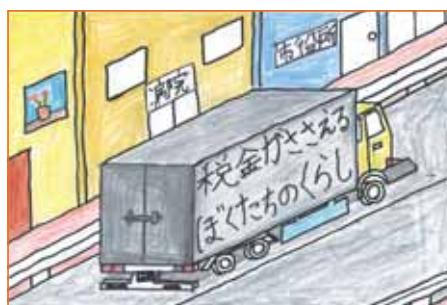
鈴鹿市立国府小学校
4年 尾崎 夏菜鈴鹿市立深伊沢小学校
3年 坂口 舞果

小学生の絵はがきコンクール

銀賞

亀山市立井田川小学校
4年 太田 陽菜鈴鹿市立庄内小学校
3年 早川 創太

銅賞

鈴鹿市立栄小学校
4年 谷口久麗奈亀山市立亀山東小学校
4年 鵜川 史遠鈴鹿市立旭が丘小学校
3年 島 亜美

佳作

鈴鹿市立一ノ宮小学校
4年 上條 雪乃亀山市立亀山東小学校
4年 笹山 未夢亀山市立加太小学校
3年 福森 涼香鈴鹿市立稻生小学校
3年 桶口 奈緒